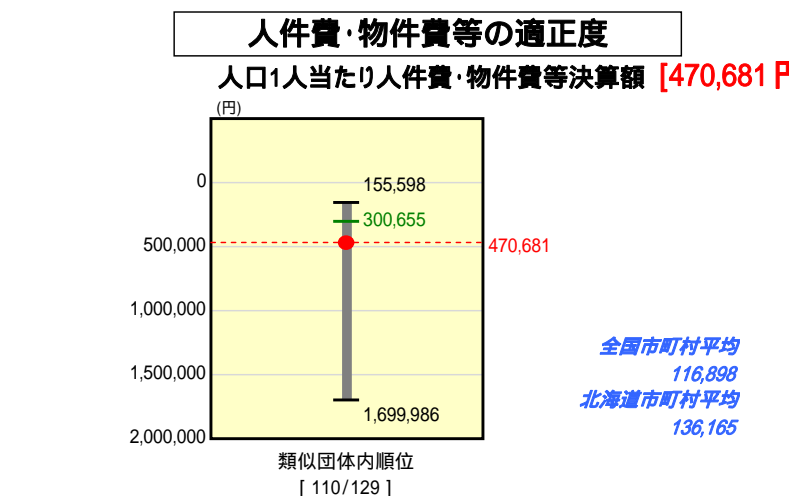
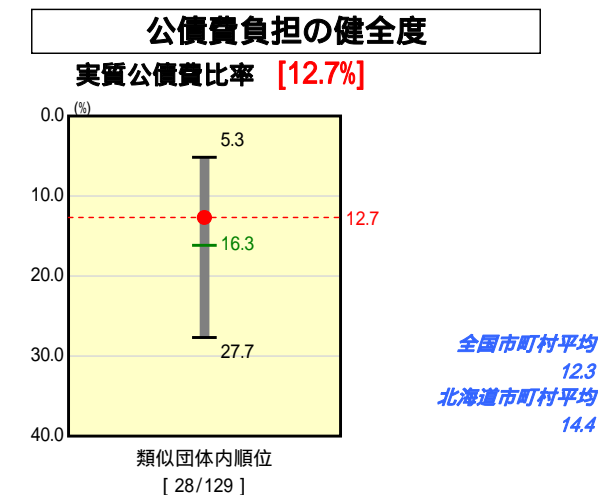
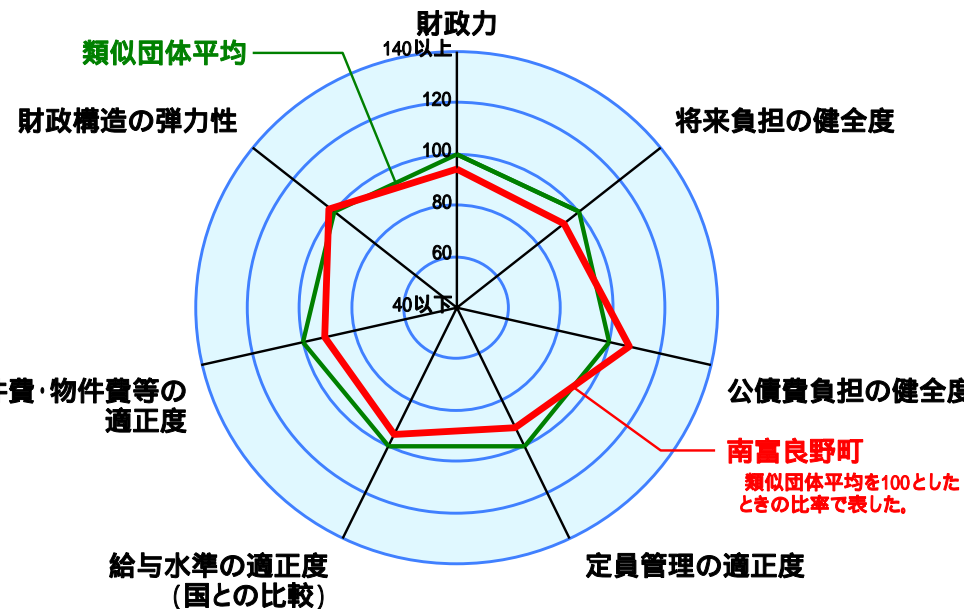
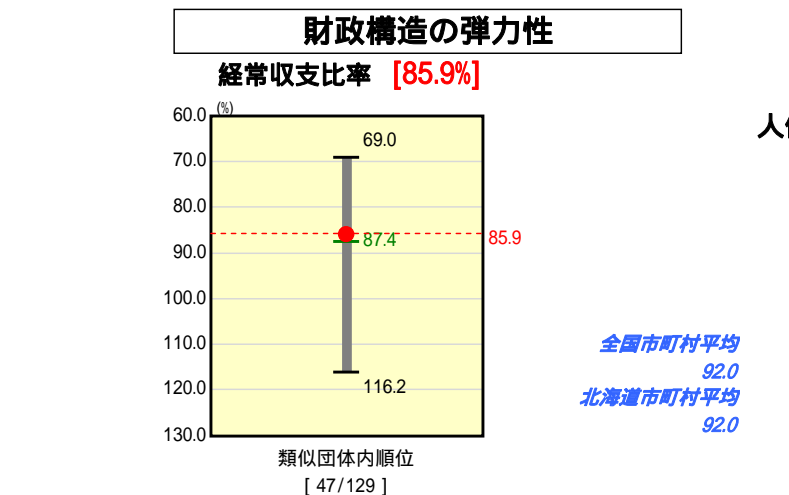
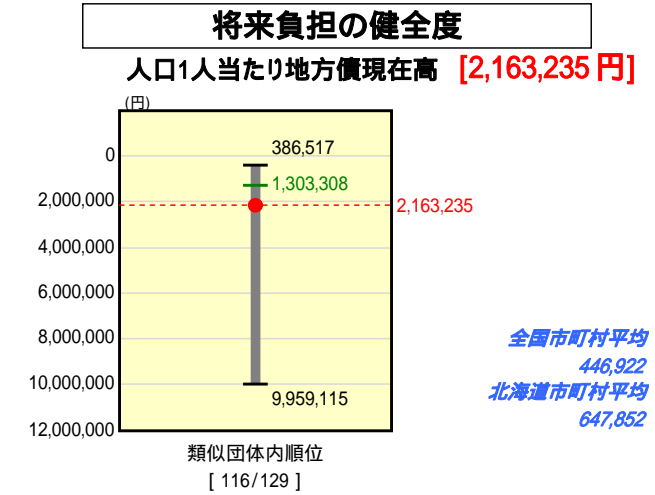
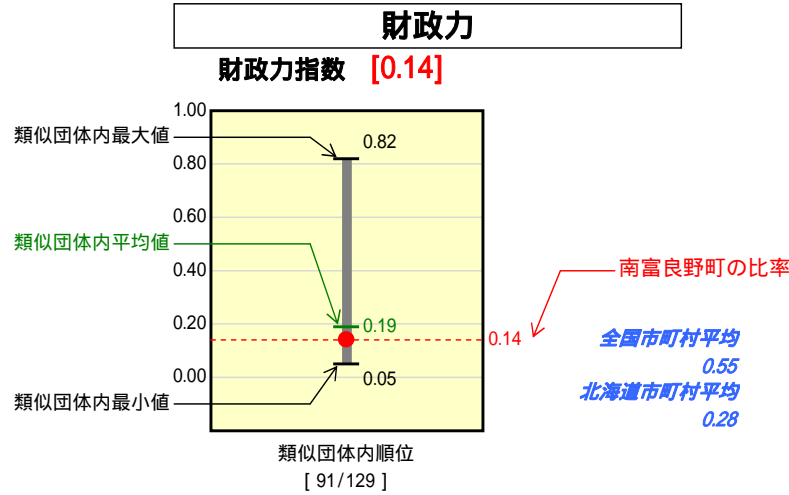


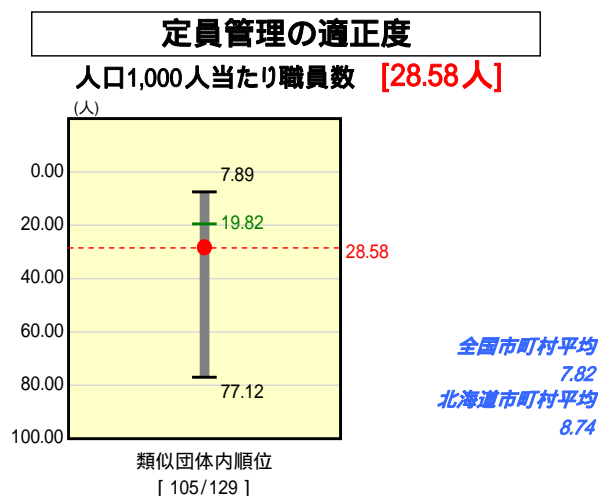
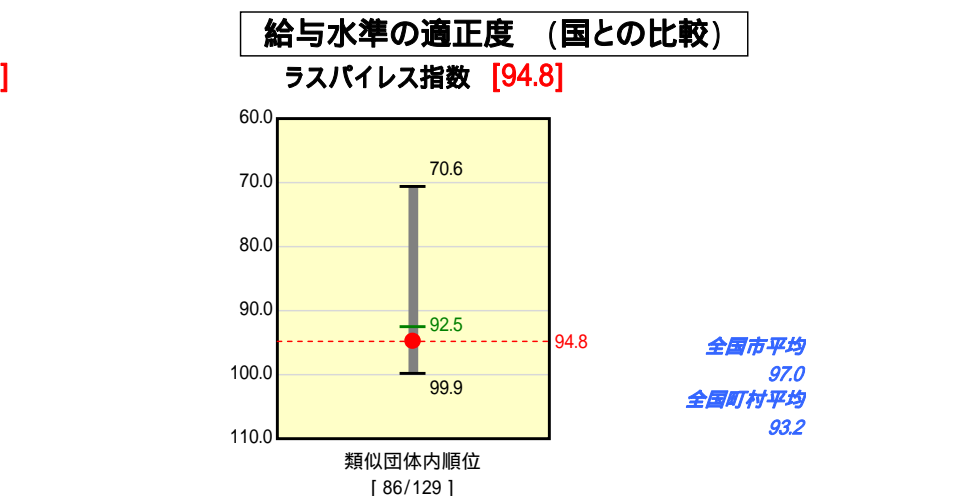
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 南富良野町

人口	2,904人	(H20.3.31現在)
面積	665.52	km ²
歳入総額	4,158,294	千円
歳出総額	4,151,330	千円
実質収支	6,964	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

財政力指数：景気低迷による個人・法人関係の減収益や農産物価格の下落などにより税収が低下していることから、0.14と類似団体平均を下回っている。退職者不補充による職員数の削減(平成22年度までの5年間で32人・28.3%減)による人件費抑制や投資的経費の抑制とともに、公共料金の改定や町税の収納率向上などの歳入確保に努める。

経常収支比率：類似団体平均を下回っているが、85.9%と高水準にあり財政は硬直化しているため、「集中改革プラン」に掲げた新規採用の抑制による人件費の削減や組織機構の見直しによる事務事業の効率化など、行財政改革の取組みにより義務的経費の抑制に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：山間に広大な行政面積を持ち、かつ中心部に人口湖を抱えていることから、集落が分散し行政コストが高くなる地理的条件にあり、470,681円と類似団体平均を上回っているため、近隣市町村との広域事務化を図るなど経費削減に努める。

人口1人当たり地方債現在高：建設事業の抑制により地方債残高の圧縮に努めているが、2,163,235円と類似団体平均を上回っている。更に平成19年度には特別養護老人ホーム整備に683百万円の地方債を発行し増加していることから、義務的経費の削減とともに、新規発行債の抑制により財政の健全化に努める。

実質公債費比率：12.7%と類似団体平均を下回っているが、計画的な事業実施により新規の地方債発行額の抑制に努める。

ラスバイレス指数：94.8と類似団体平均とほぼ同水準にある。新規採用を抑制しているため、定期昇給に伴って今後もゆるやかに上昇する見込みである。

人口1,000人当たり職員数：人口が2,904人と少ないため28.58人と類似団体平均を上回っている。「集中改革プラン」に掲げた退職者不補充や特別養護老人ホームの民間移譲などにより、平成22年度までの5年間で28.3%(32人)を削減する。